

令和6年度

食券管理システムのリース

仕 様 書

令和6年2月

一般財団法人救急振興財団 救急救命東京研修所

仕 様 書

1 総 則

この仕様書は、救急救命東京研修所（以下「研修所」という。）の食堂に設置する食券管理システム（券売機、センターシステム等）の更新に係るリース契約の内容について定める。

2 概 要

(1) 件名

食券管理システムのリース

(2) リース物件及び数量

①	ホストコンピュータ	1台
②	集計管理PC	1台
③	自動券売機（現金（高額紙幣・新貨幣対応。以下同じ）・電子マネー用）	1台
④	食券発行機（プリペイドカード専用）	4台
⑤	カード専用食券発行機端末用架台	1台
⑥	売店用POSレジスタ（現金・電子マネー・プリペイドカード用）	2台
⑦	各システム用ソフトウェア	1式
⑧	Windows11 オペレーティングシステム	1式

(3) リース契約期間

令和6年9月1日から令和11年8月31日まで（5年間、60回払い）

(4) リース物件納入場所

東京都八王子市南大沢4丁目5番地
一般財団法人救急振興財団 救急救命東京研修所

(5) リース物件の設置

令和6年9月1日までに納入及び設置（配線工事、ソフトウェアの設定を含む）する。

3 リース物件の仕様

別紙「ハードウェア及びソフトウェア要件」のとおり。

4 作業条件

(1) 作業時間は原則8:30~17:00とする。時間延長については、別途協議すること。

(2) 搬入出経路は西棟正面玄関、西通用口及び食堂事務室出入口とする。

(3) 受注者は、契約締結後、現場責任者を選定し、作業体制表を作成して担当者に提出すること。また、受注者は、着手前に現場調査を行い、その結果をもとに作業日程表を作成し、担当者に提出すること。なお、施工要領書には、工事で使用する材料及び工法等を明記すること。

(4) 搬入・搬出の際に研修所の建物・機械その他在来部分等で、汚損又は損傷の恐れのある箇所については、適正な養生を行うこと。

(5) 業務で使用する物資等を一時的に研修所の敷地内に存置する場合は、あらかじめ担当

者の了承を得ることとし、担当者の指定する場所に存置するとともに、事故防止のために適切な養生を行うこと。

- (6) 本業務において発生した廃棄物は、受注者の責により適切に処分すること。
- (7) 作業に必要となる電気及び水道は、施設内の指定された場所の設備を使用することとし、費用は研修所が負担する。

5 完成検査及び報告

- (1) 検査については、機能検査及び外観検査を実施するものとする。
- (2) 作業記録（写真含む）、業務完了届出書、保証書・取扱説明書等の各種書類を作成し提出すること。

6 契約不適合責任

受注者は、業務完了後1年以内に故障等が発生した場合は、担当者の指示により、無償にて不良箇所の修理を行うこと。

7 その他

- (1) 納入機器一覧表及び操作説明書（ハードウェア・ソフトウェア・設定情報含む）を紙媒体4部及び電子媒体で提出すること。
- (2) 研修所担当者及び食堂運営者に操作説明、教育を行うこと。
- (3) この仕様書に明記のない事項、または疑義が生じた場合は、研修所担当者と打ち合わせを行い、その指示に従うこと。

8 支払条件

業務完了後、履行確認を行ったうえで支払う。

9 担当課

東京都八王子市南大沢四丁目5番地
救急救命東京研修所 総務部総務課
担当：黒澤 TEL 042-675-9945 FAX 042-677-9955

(別紙)

ハードウェア及びソフトウェア要件

I 基本要件

1 基本方針

券売機、食券発行機、POSレジスタでの現金・電子マネー（Paypay、交通系 IC カードその他の電子マネーをいう。以下同じ）及びプリペイドカードの使用状況を一元化された帳票で出力可能とする。また、各端末の状態をホストコンピュータで閲覧可能とし、データ及び機器の管理を一括してホストコンピュータで行う。

2 システム基本事項

- (1) システムにパスワードを設定し、第三者のデータアクセスを禁止し、情報の漏洩を防止する。
- (2) 分散処理方式により、マスタ情報をホストコンピュータと各端末で相互利用可能にし、データをホストコンピュータで一元管理する。
- (3) 定期的にホストコンピュータのデータを外部の記憶装置上にバックアップを行う。
- (4) 当研修所が作成した研修生情報・プリペイドカードに付加される金額等のマスタ情報をホストコンピュータに取り込む事により、新規のプリペイドカードの発行及び、プリペイドカードの利用を可能とする。
- (5) 発行されたプリペイドカードは食券発行機及び POS レジスタで利用可能とする。
- (6) プリペイドカードの金銭価値はホストコンピュータのデータによって決定されるものとし、カード紛失時の再発行やカード運用停止を容易に行うことができるものとする。
- (7) プリペイドカードに印字する内容は以下のとおり。
 - ・研修生識別番号
 - ・研修生氏名
 - ・カード有効期限
 - ・最終利用日付
 - ・最終利用金額
 - ・残高金額
- (8) プリペイドカードの残高は以下の条件で POS レジスタ及び食券機で自動チャージ可能とする。
 - ・当研修所が予め設定した日付にカード投入した時
 - ・当研修所が予め設定した金額を下回ったカードを投入した時
- (9) プリペイドカードを持たない職員等は現金及び電子マネー対応の券売機で食券を購入する。
- (10) POS レジスタでは以下の支払い方法を可能とする。
 - ・現金
 - ・電子マネー
 - ・プリペイドカード

- (1 1) 以下の事項を記載したマニュアルを4冊、納入すること
 - ・エラー、警報音に関する一覧及び対処方法
- (1 2) プリペイドカード用券売機以外のPC機器（端末）については、現用機器のソフトウェア及びOSの交換を基本とすること

II ソフトウェア

1 ホストコンピュータ

◆マスタ情報登録ソフト

- (1) 研修期間毎に設定される以下の情報を登録する。
 - ・研修期間番号
 - ・研修期間
 - ・プリペイドカードチャージ日付
 - ・プリペイドカードチャージ金額
- (2) 研修生毎に設定される以下の情報を登録する。
 - ・研修期番号
 - ・研修生識別番号
 - ・研修生氏名

※登録は予め作成された CSV 形式のデータの取り込みによって行う。
- (3) 研修期の設定は、グループ設定により行う。また、原則前期・後期の2期であるが、別途グループの追加設定を行えるようにする。また、グループごとの金額の設定は、必要に応じて常時行える。
- (4) 商品コード登録
 - ・券売機、食券発行機、POS レジスタに登録される商品のコードを登録する。
- (5) その他
 - ・インボイス対応である。

◆プリペイドカード新規発行ソフト

- (1) マスタ情報登録ソフトで登録された研修生情報を元に新規カードを発行する。
- (2) カード紛失時、代替の新規カードを発行し、紛失カードを無効にする。

◆自動券売機メニュー編集ソフト

- (1) 自動券売機の価格及び、券面の編集を行う。
- (2) 時間帯での売り切れ制御を設定する。
- (3) 作成したメニューデータの送信を行う。

◆食券発行機メニュー編集ソフト

- (1) 食券発行機に表示されるメニュー名及び、価格の設定を行う。
- (2) 時間帯での売り切れ制御を設定する。
- (3) 作成したメニューデータの送信を行う。

◆誤購入取消ソフト

- (1) プリペイドカードによる誤購入時は、取消操作により誤購入分の再チャージを可能とする。

◆POS レジスタメニュー編集ソフト

- (1) POS レジスタに使用されるメニュー名及び、価格の設定を行う。
- (2) プリペイドカード購入可能商品の登録を行う。

(3) 作成したメニューデータの送信を行う。

◆機器監視ソフト

券売機、食券発行機、POSレジスタの各装置情報を随時取得しホストコンピュータの画面に表示する。

表示する主な内容は以下のとおり。

- ・ 接続状態
- ・ 紙切れ状態
- ・ カード詰まり等の情報
- ・ 釣銭切れ状態(※券売機のみ)

2 集計管理 PC

◆ 集計管理ソフト

- (1) 券売機より売上データを取得する。
- (2) 研修期間毎の券売機、食券発行機、POSレジスタの売り上げ日報・月報の出力を行う。
- (3) 商品コード別の売上を出力する。
- (4) システム上で各研修生のカード利用状況が閲覧できる。
- (5) 売掛(宴会・弁当)が日計の総売上に反映される。
- (6) 売店の販売アイテムの集計において、総売上額その他、個々の商品ごとの詳細及び売上個数並びに売上額が日単位で表示される。
- (7) 売上日報に現金・電子マネー及びプリペイドカードごとの販売数が表示される。
- (8) 売上日報に食堂及び売店のレシート上の消費税額が表示される。

3 食券発行機

- (1) 有効なプリペイドカードが認識されると食券発行機メニュー編集ソフトで作成されたメニュー情報を表示する。また、プリペイドカードの残高を表示する。
- (2) 購入されたメニューの金額をホストコンピュータ管理のデータから減算する。また、購入記録をホストコンピュータに残す。
- (3) 購入されたメニューの食券を発行し、残高情報等を再印字しカード排出を行い、待ち受け画面に遷移する。
- (4) 食券用の用紙が不足した場合はホストにその旨を通知し、食券発行機を使用不可にする。
- (5) アイドル状態が一定時間続くと省エネの為、スリープ状態にする。
- (6) 毎日指定された時間に自動的に起動、シャットダウンを行う。

4 POSレジスタ

- (1) 現金、電子マネー及びプリペイドカードでの支払いが可能とする。
- (2) プリペイドカードで利用可能なメニューは、予めメニュー編集ソフトで設定することができる。
- (3) バーコードリーダーによる商品の読み取りが可能とする。
- (4) 全体の購入金額のうち現金、プリペイドカードそれぞれいくら充当するか、レジスタ上で調整可能とする。

- (5) プリペイドカード使用時は、使用金額を残高から減算しホストコンピュータのデータを更新し、カード再印字をする。
- (6) 誤購入時に取消操作も可能とする。
- (7) プリペイドカードによる誤購入時は、取消操作により誤購入分の再チャージを可能とする。
- (8) レジスタの操作記録は操作毎に記録される。
- (9) 食券発行機と同じメニューを登録でき、レシートプリンタより食券を発行可能とする。
- (10) 領収証を発行する場合、商品の内訳の表示／非表示を選択できること。また、発行した領収証の控えを別途、発行できること。
- (11) バーコードからの商品登録を POS レジスタ端末からも入力できること。

Ⅲ ハードウェア

1 機器全般

- (1) ホストコンピュータ、集計管理 PC、自動券売機、食券発行機、POS レジスタは停電に備えて無停電装置(UPS)を必ず装備すること。
- (2) 各端末のオペレーティングシステム及びデータベースソフトは汎用性と安定性を兼ね備えたものとする。
- (3) カード装置及び、食券・レシートプリンタは代替を考慮して、食券発行機及び POS レジスタで共通のものを使用すること。

2 自動券売機

- (1) 紙幣・硬貨仕様（新紙幣・貨幣に対応できること）
 - 使用貨幣
 - 紙幣：10,000 円 / 5,000 円 / 2,000 円 / 1,000 円
 - 硬貨：500 円 / 100 円 / 50 円 / 10 円
 - つり銭
 - 紙幣：5,000 円 / 1,000 円
 - 硬貨：500 円 / 100 円 / 50 円 / 10 円 ホッパー式(自動供給、還流式)
- (2) 電子マネー仕様
 - 食堂業者側の設定で各種電子マネー及び QR 決済を使用できること。
- (3) 発券仕様
 - 用紙：感熱ロール紙 (57.5mm×300m)×2 巻
 - 給紙方式：オートローディング方式
 - 切替方式：ダブルロール機能（口座別切替方式、シングル方式、リレー方式）
 - 券サイズ：57.5mm×21、30、39、48、57、87mm
- (4) 接客パネル
 - 口座数： ボタン 72 口座
 - 押しボタン 運用にあわせてフリーレイアウト
- (5) その他機能
 - 通信機能（券売機の売上データをパソコンから抽出できること）
 - 領収書発行機能付
 - 両替機能付
- (6) 外形寸法等
 - 外形寸法：650mm(W)×300mm(D)×1600mm(H) ヒンジ含む（最大突起部 90mm）以下の物
 - 重量：約 110kg 以内
- (7) 数量 1 台

3 ホストコンピュータ（既設機器の OS 及びソフトウェアの入れ替えで対応）

(1) 装置構成

- ・ パソコン本体 1 式
 - O S Windows11
 - CPU Intel Celeron 1 GHz 以上

- メモリ 512MB 以上
- HDD 30GB 以上
- ネットワーク 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
- ・液晶ディスプレイ 15インチ以上 1台
- ・外付けファイルサーバー 1台
- ・カード装置 リライト式 1台
 - 印字方式 感熱式
 - 印字文字種 漢字 JIS 第1・第2水準・英数カナ
- インターフェイス USB3.2×3 以上

(2) その他

- ・RAID1 によるデータ保護を行うこと。
- ・主記憶容量は、120GB 以上であること。
- ・USB インターフェイスを装備すること。
- ・アンチウィルスソフトをインストールすること。
- ・24 時間起動が可能であること。

4 集計管理 PC (既設機器の OS 及びソフトウェアの入れ替えで対応)

(1) 装置構成

- ・パソコン本体 1式
 - O S Windows11
 - CPU Intel Celeron 1GHz 以上
 - メモリ 512MB 以上
 - HDD 256GB 以上
 - ネットワーク 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
 - TPM 等による耐タンパ性を有すること
- ・液晶ディスプレイ 15インチ以上 1台
- ・帳票出力プリンタ 1台
 - インクジェットプリンタ

5 食券発行機 (プリペイドカード専用)

以下の各機器のうち、ディスプレイとカード装置、プリンタを4台並べて設置できるテーブルその他適切な架台を用意すること。

(1) 装置構成

- ・パソコン本体 4式
 - O S Windows11
 - CPU Intel Celeron 2GHz 以上
 - メモリ 512MB 以上
 - HDD 256GB 以上
 - ネットワーク 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
 - TPM 等による耐タンパ性を有すること
- ・液晶ディスプレイ タッチパネル式 15インチ以上 4台
- ・カード装置 リライト式 4台

印字方式	感熱式	
印字文字種	漢字 JIS 第 1・第 2 水準・英数カナ	
インターフェイス	USB2.0× 3 以上	
・サーマルプリンタ		4 台
印字 幅	80mm	
印字 方式	サーマル式	
印字文字種	漢字 JIS 第 1・第 2 水準 英数カナ	
オートカッター	パーシャルカット (1 点切り残し)	
インターフェイス	USB2.0× 1	

6 売店用 POS レジスタ

(1) 装置構成

・タッチパネル式パソコン本体		1 台
(既設機器の OS 及びソフトウェアの入れ替えで対応)		
OS	Windows11	
CPU	Intel Celeron 1 GHz 以上	
メモリ	512MB 以上	
HDD	256GB 以上	
ネットワーク	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T	
・サーマルプリンタ		2 台
印字 幅	80mm	
印字 方式	サーマル式	
印字文字種	漢字 JIS 第 1・第 2 水準 英数カナ	
オートカッター	パーシャルカット (1 点切り残し)	
インターフェイス	USB2.0× 1	
・カード装置		2 台
印字方式	感熱式	
印字文字種	漢字 JIS 第 1・第 2 水準・英数カナ	
インターフェイス	USB2.0× 3 以上	
・カスタマディスプレイ		2 台
・キャッシュドロア		2 台
・バーコードスキャナ装置	ハンドスキャナー	2 式

7 架台

「5」の架台のサイズは、以下のスペースに収まるものであること。
2800mm (W) × 1100mm (D)